

平成30年度 千葉市大学市長賞候補者一覧

別紙

大学・短期大学名	(フリガナ) 候補者	推薦理由概要
植草学園大学	(ノムラ エリ) 野村 英里	幕張メッセ国際会議場・国際展示場および東京ベイ幕張ホールにて開催された第52回日本理学療法学会(平成29年5月)に、学生ボランティアとして参加し、大会運営に協力した。学業成績については、4年間常に上位にいる優秀な学生である。保健医療学部で行われる学外臨床実習では実習先指導者ならびに患者からも高く評価されている。性格面においては、穏やかで落ち着いた態度で人と接することができ、他の学生と強調を図りながら、リーダーシップをとることができる責任感の強い学生である。
神田外語大学	(ワケベ ダイ) 分部 大	ボランティア活動に積極的に取り組み、地域との交流をテーマとした本学主催の幕張チャリティ・フリーマーケットでは、運営学生委員の中心的役割を担い、イベントを大成功に導いた。学外においても、本学ボランティアセンターを通じて、数多くの国際的な競技大会やイベントに、ボランティア通訳として参加し、大学で鍛えた英語力を実践の場で存分に生かし活動した。幕張新都心まちづくり協議会の主催で年2回行われる「幕張新都心クリーンの日」一斉清掃に複数回にわたり参加し、大学及び地域貢献を果たした。
敬愛大学	(オオタ ミユ) 太田 美祐	大学公認団体「教育ボランティアサークルIris(アイリス)」の設立時から代表を務めた。本団体は、主に千葉市美浜区で小学校児童向けの学習支援プログラムを展開し、美浜区役所とも連携し、事業を行う等、活発な活動を行った。この活動が評価され、平成29年度には一般財団法人学生サポートセンター「学生ボランティア団体助成」にも採択され、学生代表として表彰された。学業についても熱心に取り組み、優秀な成績を修めた。
淑徳大学	(カジマ ショウゴ) 鹿島 捷吾	ジャグリングサークル徳能雑技団に所属し、市内の小中学校、事業団から依頼を受け、数多くの公演をこなし、現在は、個人で要請を受け福祉施設での積極的な公演を行っている。また、学内のノートテイク実行委員会、手話サークルに所属し、聴覚障がい者の情報保障に積極的に取り組んでいる。学業においても優秀な成績を修めている。本年度は学園祭の実行副委員長としても活躍し、地域に開かれた学園に貢献した。学生のみならず教職員からも頼られる模範的な学生である。
国立大学法人 千葉大学	(スギモト ミキ) 杉本 美樹	平成29年度から平成30年度の2年に渡り、花見川区西小中台団地ショッピングセンター再生のためのワークショップに主体的に参加した。西小中台団地の住民の方々や店舗関係者、子ども食堂に興味を持つ市民の方々と共に、月に1回、ショッピングセンター内の店舗を活用した子ども食堂プラスアルファのイベントを企画・実施した。プラスアルファのイベントとは、ショッピングセンター広場内で無料コーヒーをサービスするコーヒースタンド、ショッピングセンター内の未利用地を活用した「みんなの畑」づくり、子ども達を対象とした屋外映画上映会、ショッピングセンターの建物にこれまでの取り組み映像を映したプロジェクトマップ等である。なお、これらの地域貢献活動を踏まえて、修士論文「タクティカルアーバンイズムを用いた集合住宅団地における商店街再生に関する研究―千葉市西小中台団地ショッピングセンターを対象として」を執筆している。また、学業でも国内外の学会で研究発表をするなど優秀な成績を修めている。
千葉経済大学	(カイ ミチル) 甲斐 美智留	4年次に稲毛区内にある子ども食堂「とどろきっこ食堂」でのボランティアや、千葉市こども若者市役所(CCFC)プロジェクトの一環として開催された「メリクリCafe」に参加して、多世代の地域住民との温かいコミュニケーションを大切にしながら地域(特に稲毛区)の活性化に貢献した。学業は優秀であり、卒業時に学芸員資格の取得が予定されている。課外活動では1年次からオープンキャンパスアシスタントスタッフを務め、そのホスピタリティある積極的な姿勢は参加者から高く評価され、教職員から信頼されるものであった。

大学・短期大学名	(フリガナ) 候補者	推薦理由概要
千葉県立保健医療大学	推薦なし	
東京情報大学	(ハラ ダイチ) 原 大地	<p>千葉と情報大の情報発信サイト「ちばActive!」の運用、子ども主体のまちづくり「わかばC B T こどものまち」の運用支援、みつわ台夏祭りでの祭り会場ライブ配信や「I T 大学」の実施、千城台東小学校と四街道市吉岡小学校の児童が連携した「四街道こどものまち」のWebサイト開発や運営など、地域活動においてWeb技術による支援をはじめ中心的な役割を果たした。加えて、地域活動での写真撮影や映像制作を主導し、本学映像ゼミとのパイプ役も担った。</p> <p>卒業研究では、地域活動団体を支援するグループウェア開発に取り組み、地域の子ども達や運営担当者、大学関係者が組織の枠を超えて、子ども達の活動記録やノウハウを共有できるシステムを課発した。</p> <p>教員の授業補助にも積極的に協力し、プログラミングやグループワークの授業、教員免許状更新講習や高校生向け高大連携授業を担当した。また、ゼミ内では学生生活・研究面での後輩指導や研究用開発ツールの導入など、円滑なゼミ運営に貢献した。</p>
東都医療大学	推薦なし	
放送大学	推薦なし	
植草学園短期大学	(アキモト マリ) 秋元 麻里	<p>「こどものまちC B T」に主体的に参加し、積み木等の遊具で幼児の『ごっこ遊び』をサポートした。また、若葉区西都賀にある放課後等デイサービス「バンブーアイランド」でボランティア活動を行い、障害のある児童の音楽療法の支援をした。</p> <p>学業成績が優秀（上位5位以内）で、大学のスカラシップ制度の栄誉を本年度受けた。</p> <p>学園祭において、実行委員会副委員長を担い準備や片付け等に労を厭わず役割を務めた。</p>
千葉経済大学短期大学部	(ヌマヤマ ユキ) 沼山 由樹	<p>「千葉の親子三代夏祭り」のボランティアに積極的に参加した。また、子どものための地域貢献として、千葉市中央図書館主催の「子ども読書まつり」にボランティアとして参加し、千葉市内の子ども達に読書の楽しさを享受させた。</p> <p>向学心に富み、優れた学習成績を修めている。</p> <p>学内の様々な活動でリーダーシップを発揮し、他の学生の模範となっている。</p>
千葉明德短期大学	(ミゾグチ アイリ) 溝口 愛里	<p>「新成人と語る未来の千葉市2019（新成人座談会）」において大学を代表する学生として選出された。</p> <p>2年間の学生生活を通じ、常に成績優秀であった。千葉明德学園系列の保育園に就職が決定している。</p> <p>誠実、温厚な人柄で、周囲からの信頼も厚い。</p>
帝京平成大学	(ミヤサカ チサト) 宮坂 千理	<p>4年前期におけるG P Rは救急救命士コース4年次学生55人中1位と、学業に秀でていることに加え、本学女子サッカー部レギュラー部員として、全日本大学女子サッカー選手権大会第1シード、2018年度千葉県女子サッカー選手権（皇后杯）優勝、2018年度関東大学女子サッカーリーグ戦優勝、など実績をあげてきた。</p> <p>さらに、帝京平成スポーツアカデミー主催の子供サッカー教室に積極的にボランティア参加するなど、受賞にふさわしい学生である。</p>
千葉工業大学	(サワダ ヒロカ) 澤田 大翔	<p>吹奏楽部部长として部をとりまとめ、2017年7月からJ R 東日本京葉ベイサイドライブプロジェクトでは、J R と共に計画をし、J R 海浜幕張駅前広場やイオンモール幕張新都心など千葉市内でのイベントほか様々な地域で演奏を行い、大学の発展に貢献した。</p> <p>学外では日本福祉工学会に参加し、介護や障害者支援について学び、学内においても成績も優秀で学業と課外活動を見事に両立し、模範となるような学生である。</p>